

令和5年度

環境先進企業見学研修会開催

1. 開催日時：令和5年度8月31日（木）10：30～16：45
2. 会場：三重中央開発（株）三重リサイクルセンター
3. 主催：湖南・甲賀環境協会
3. 参加者：43名



大栄環境グループ 三重中央開発（株）三重リサイクルセンター

◆見学研修会の目的

今回は、環境担当者研修会での産業廃棄物処理の関心度が高い事、又県の産業廃棄物受入が今年10月下旬をもって終了の予定であり、会員企業様に於かれましては、終了後県外の管理型最終処分場を利用せざるを得ない状況下、産業廃棄物処理の一助になればと思い、収集運搬から中間処理、再資源化、最終処分まで一貫したリサイクルシステムを展開する、三重中央開発（株）三重リサイクルセンター様を、見学させていただきました。



大栄環境グループ 三重中央開発（株） 三重リサイクルセンター

三重リサイクルセンターでは、最新のリサイクル技術によって再資源化され、また各種設備によって無害化、減容化をされています。それでもリサイクルすることができなくなったものに対し、埋立処分を行う管理型最終処分場を抱え、地域活性化と資源循環型社会づくりを両立させ、取り組んでいます。

また、ジオメルト無害化施設を新たに設置しており、大きな特徴は「洗浄と熱処理を組み合わせた連続処理システム」です。この高温熱処理施設を活用して、日本で初めて低濃度 PCB 廃棄物、PCB 汚染土壌の浄化を行うことができます。

※多種多様な廃棄物を処理・処分できる主な施設

・選別・破碎・再資源化施設



破碎選別 A ライン 250t/日



B ライン 120t/日



・焼却・焙焼



焼却施設 318t/日 4000kw



炭化施設



焙焼施設 (1100℃)

・ジオメルト無害化施設



1200℃～2000℃のジュール熱により残留性有機汚染物、PCB、ダイオキシン、DDTなどの難物質を完全に無害化する、国内唯一の施設です。

・管理型最終処分場



第8期処分場 (3,290,000m³)

三重リサイクルセンターでは、2022年3月グループ最大規模の許容容量を有する第8期管理型最終処分場が竣工し、従来の許容容量と合わせて約1,280万m³となっております。

大栄環境グループは、官から民への委託事業にも取り組んでおり、2016年に本格稼働を始めた近江八幡市環境エネルギーセンターは、滋賀県初のDBO（設計・施工・運営）方式を採用し、管理、運営されています。

※今回の先進企業見学研修会に参加頂いた方から、次のような言葉をいただきました。



- ・リサイクル処理の現状を知る良い機会となった。
- ・最終処分場の見学ができ、更に広大な処分場の計画があることで規模に驚いた。
- ・大栄環境グループの環境づくりが大規模、様々な取り組みがなされており、勉強になりました。

以上